

「まつかぜ」による親子の体験航海を実施しました。

平成28年5月15日（日）、敦賀港のきらめきみなと館とその周辺において、「親子のフェスティバル」が開催されました。このイベントは、親と子・仲間・地域・自然とのふれあい等を通じて青少年の健全育成を図ることを目的に、青少年健全育成敦賀市民会議が主催したもので、昭和58年の第1回開催から今回で34回目となり、当事務所としては港湾業務艇「まつかぜ」による親子の体験航海を実施し、6回目の参加協力となりました。

体験航海は、乗船希望者を事前の電話受付により募集したところ、予約開始時刻から約40分ほどで定員の100名に達するほど、市民に親しまれる恒例のイベントになっています。

当日は、多少風が強かったものの天候に恵まれ、多くの家族連れが会場を訪れる中、午前10時から午後3時までの計5回「まつかぜ」を運航し、船内では港湾施設の概要や取り扱う貨物などの説明を行い、乗船された皆さんは普段見ることのできない海からの眺めや港の役割に大変興味を示していました。

子供達からは「ちょっと揺れたけど全然怖くなかった」「また乗りたい」などの頼もしい言葉や、嬉しい声も聞くことができました。

また、フェスティバルでは海上自衛隊のミサイル艦や海上保安部の巡視艇が一般公開されたほか、日本に数台しか無いとされる「Laフェラーリ」が展示されるなど、様々なイベントが実施され、多くの親子で賑わいを見せていました。



「まつかぜ」の乗船待ちをする親子



港湾の役割などを興味津々に聞く親子



体験航海を終えて・・・



Laフェラーリの展示に賑わう親子